



畑に吹く風はすっかり秋の風
ススキの穂がきれいです

夏の終わりは虫たちが大活躍？！

8月も末になってくると、朝夕はずいぶん涼しくなり、畑ではクワイモの黄色い花がたくさん咲いています。この夏は雨の少ない夏でした。時々、畑の土が流されるようなドシャ降りの雨が降ることはありましたが、今年の台風のことを思うと、おだやかな、夏らしい夏だったように感じます。

8月末から9月にかけては、白菜や大根、人参の種まきなど、冬の間に収穫する野菜の準備に追われる時期ですが、同時に、虫たちが大活躍(?)する時期でもあります。白菜や大根などのアブラナ科の野菜は、芽が出たと思ったらもう、ゴマ粒くらいの大きさのキスジノミノハムシがやってきて、葉っぱを穴だらけにしてしまいます。種をまいたらすぐ、不織布のシートで覆っておくのですが、土の中からはヨトウムシが出てきて、芽が出たばかりのところをチョコキン！と切ってしまう。もう少し寒くなれば、虫たちの害はずっと少なくなるのですが、寒くなりすぎると野菜が大きくなってしまわないので、その時期の見極めが難しいところです。白菜の種まきのチャンスは、一年に一度しかありません。無農薬で白菜がうまく作れるようになったら一人前だと何かの本で読んだことがありますが、今年こそは…と思って、今年もまた、白菜の種をまきました。

冬の間食べる人参の種をまきました

人参が甘くておいしいのは冬。この冬に収穫する人参の種まきが、8月中に終わりました。2週間程の間にまいたのは約10万粒。うねの長さにして約500メートル。マルチに一つずつ穴をあけ、一つの穴に3粒ずつの種をまいていきます。今回もまた、シルバー人材センターからのたくさんの方たちにお世話になりました。

芽が出始めるまでの約10日間は、乾かないように水やりが欠かせません。夏まきの人参は、一斉に発芽させるのがなかなか難しく、芽が出そろうまでは気が気ではありません。草が芽を出すのが早いのか、人参が芽を出すのが早いのか、はらはらしながらの10日間です。芽が出そろったら間引きをして、草取りをして、収穫が始まるのは11月頃からの予定です。

トウモロコシ、その後…

7月末に収穫したキャンベラ、ウッディーコーンに続いて、8月に入ってゴールデンクロスバンダム、少し遅れて、もちとうもろこしを収穫しました。ゴールデンクロスバンダムは、今のスーパースイート系のトウモロコシが出てくる前、昭和40年代まで食べられていた品種で、キャンベラなどに比べて甘みが少ない分、カメムシには吸われにくかったようです。焼きトウモロコシにして食べると、懐かしい味がしておいしかったです。もちもちと歯にくっつくタイプのトウモロコシでした。

もちとうもろこしは未熟な実には甘みがあり、おそらくこの時にカメムシが甘い汁を吸っていたので、熟した時には既にカメムシの吸った跡だらけになっていました。甘みは少なかったですが、穀物的なおいしさがあり、実をほぐしてスープに入れて食べるとおいしかったです。

お便りありがとうございます！

トマト、きゅうり、何もつけずに食べました。美味しかったです。たまねぎ、超薄切りにして、カルパッチョに使用しました。水にさらさなくても甘くて美味しい。ズッキーニ、オリーブオイルで炒めました。今日は米ナスを使おうと思っています。輪切りにして、チーズとトマトをのせようかな。

畑の日記、面白いです。文章も絵もお上手。タヌキがとうもろこしを倒す絵、抜群です。冷蔵庫に貼って鑑賞しています(笑)。でも、とうもろこしって育てるの大変なんですね。初めて知りました。それでは、9月に届くのを、また楽しみにしております。

(広島市 Tさん)

